



しえんいん 支援員だより

Vol. 62

はるのいろ、どんないろ？

寒い冬がすぎてあたたかい春がやってきました。たくさんのお花が咲いてピカピカのランドセルの1年生が歩いています。春はいろいろな色が楽しめる季節です。みんなはどんな色が好きですか？



『はるがきた』
ジーン・ジオン
主婦の友社

『いろがみえるのは どうして？』

キャサリン・パー
しょうがくかん
小学館

たくさんの色のひみつ
や見え方がわかります。



『わたしはあかねこ』

サトシン 文溪堂

わたしはあかねこ。
家族のみんなとは、違う毛色
だけれど、わたしは好き。
でも、みんなに心配されるから
わたしは旅に出ることにしたの。

『みどりのゆび』

モーリス・ドリュオン
いわなみしょてん
岩波書店

チトは、どんなところにも花を
咲かせる「みどりのゆび」を持
っています。チトの力で沢山
の花が咲き、チトの住むミルポ
ワルは「花の町」となります。
しかし、ある日、戦争が起こり、
心を傷めたチトはある行動に
でます。

『引き出しの中の家』

朽木 祥 ポプラ社

七重の家では、人と同じよう
な姿をした小さい「花明か
り」がいて「花明かりにふさわ
しい大きさ」のものがあれば
現れるといわれています。
七重は会うことができるで
しょうか？



『日本の色彩 22の色』 とだこうしろう 戸田デザイン研究室

『日本のことばずかん いろ』 神永 暁 講談社

日本語は、色の名前がとても多いと言われており、赤色だけでも
「くれない」「しゅ」「あかね」など微妙な違いがあります。この
2冊の本から、日本人が色にこめた思いを感じてみませんか？

巡回日は支援員がお知らせします

